



第11回常任理事会

日時 平成20年9月9日(火) 18:02~19:28
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 北海道教育委員会委員の推薦に関する件
(深澤常任理事)

三戸常任理事を推薦することと決定。

第2号 第14回日本看護サミット北海道'09(仮称)実行委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

長瀬会長を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(小山常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座40件、道医認定生涯教育講座39件、合計79件を承認することと決定。

報告事項

1. 平成20年度患者接遇に関する研修会について
(橋本常任理事)

本年度は、滝川市・苫小牧市・渡島・宗谷の4医師会で6月から9月にかけて開催した。

受講者は、総数で514名であった。来年度も4カ所で開催する予定である。

2. 平成20年度介護保険制度・障害者自立支援法にかかわる主治医研修会について(三宅副会長)

本年度も昨年同様、標記主治医研修会を合同で開催した。札幌を基点として函館市、小樽市、室蘭市、岩見沢市、北見市、帯広市、釧路市の8カ所を7月30日に同日開催。そのほか、苫小牧市、旭川市の2カ所を8月に各々現地で開催した。受講者総数は159名増の792名であった。

3. 第2回政経問題懇話会[8月26日(火)]について
(直江常任理事)

第10回常任理事会終了後開催。小山光一北大大学院経済学研究科教授が「医療制度と財政」と題する

講演を行い、人びとが自分の欲望に基づき行動した結果であっても社会的に望ましい結果が生まれるように、医療制度をデザインする考え方を披露し、医療費の費用負担について経済学的な見地から意見を述べた。

4. 緊急臨時的医師派遣事業第5回運営委員会[8月27日(水)]について(宮本副会長)

派遣依頼のあった2医療機関2診療科の状況および登録済派遣元医療機関16病院の条件を精査の上、1件の派遣を決定し他1件は医療機関間調整とした。

5. 北海道総合防災訓練[8月28日(木)・江別市]について(目黒常任理事)

大規模風水害・地震災害を想定した訓練が行われた。医療救護訓練には江別医師会が参加し、救護所でトリアージを行い関係医療機関と連携して後方医療機関への患者搬送を指示した。

参加者は38団体から約700名であった。また8月20日(水)石狩市にて、救急搬送実施機関(道防災ヘリ、札幌消防ヘリ、ドクターヘリ)3機合同の連携訓練がドクターヘリ運航調整委員会、北海道、当会の共催で行われた。

6. 「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」の養成を目的とする認定制度(案)に関する懇談会[9月4日(木)]について(宮本副会長)

標記に関し、飯沼日医常任理事を迎え、全理事会メンバーからの出席者と懇談を行った。懇談会では種々意見が出されたが、当会では、既に標記認定の制度化は患者のフリーアクセスの制限や厚労省による制度化への利用に繋がる恐れがあるなどの理由により、制度化への反対を回答しており、同常任理事に対しては、本懇談会で出席者から出された意見と併せ改めて当会の考え方を日医執行部へ伝えてもらうこととなった。

7. 第23回全国医師会共同利用施設総会[9月6日(土)・7日(日)岐阜市]について(北野常任理事)

「医師会共同利用施設の明日を考える」をメインテーマに開催された。唐澤日医会長の特別講演、医師会病院関係、検査・健診センター関係、介護保険関係の3分科会、「新公益法人制度」の講演等が行われた。次期は、平成22年に山形県医師会の担当で開催される。

8. 日医各委員会報告

(1) **介護保険委員会について**(三宅常任理事)

介護施設職員の離職率が低報酬、労働価値の低評価などで非常に高く、また中小規模の介護施設の経営も厳しい状況等を踏まえ、介護報酬の増額改定が最重要課題であるとして、「介護報酬改定に向けた要望・意見～介護人材の定着・確保を重点項目として～」をテーマに各委員からのレポートを中心に意見交換を行った。

9. 外部各委員会報告

(1) **第1回道立特別支援学校等結核対策委員会**

[9月2日(火)]について(榊山常任理事)

委員長に小職、副委員長に山口亮委員(道医療参事)が選出された。平成20年度道立特別支援学校等における結核対策の検討として、検診、問診で問題となったBCG未接種者6名について協議し、全員を受診不要者とした。また、平成19年度検討結果に基づくその後の状況について報告された。

10. 各部報告

(1) 札幌市立大学専門講座【わが国の看護人材対策の動向】[9月1日(月)]について

(北野常任理事)

講師の寺山洋一氏(厚生労働省医政局看護課・看護職員確保対策官)より「看護師の離職率」「退職理由」、看護人材対策として「再就業支援」「資質向上」「第六次看護職員需給見通し」等の内容説明を受けた。

道総医協関連事項

1. 地域保健専門委員会 第1回循環器疾患対策小委員会[9月2日(火)]について(藤原常任理事)

委員長に島本和明委員(札幌大内科学第二講座教授)、副委員長に宝金清博委員(札幌大脳神経外科学講座教授)を選出した。報告事項では、北海道医療計画に基づく脳卒中の急性期・回復期医療、急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関の公表状況と、脳卒中の回復期医療を担う医療機関の公表基準の変更および医療機関名の更新手続きについて説明された。協議事項では、脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査について、平成21年度から4年間の実施を決めた。

第13回常任理事会

日時 平成20年9月22日(月) 18:42~20:54
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川各常任理事、高木・水元・中村各監事(事務局:島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 第130回北海道医師会臨時代議員会の処理事項に関する件(深澤常任理事)

9月14日開催の臨時代議員会で採択された決議文を日医会長、都府県医師会長、郡市医師会長、国会・道議会議員、市町村議会議員、政党、関係省庁、マスコミ等へ送付することと決定(合計681件)。

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件(深澤常任理事)

9月17日の審査委員会で指定「可」とされた再審1名の申請者を指定医師とすることと決定。

第3号 平成20年度北海道医師会表彰に関する件

(深澤常任理事)

表彰規程にもとづく会員91名、A会員の病院・診療所従業員256名、国公立等医療機関従業員138名、医師会職員9名、合計494名について表彰選考委員会での選考結果にもとづき被表彰者と決定。

第4号 役員会務分担等の一部変更に関する件

(深澤常任理事)

臨時代議員会の補欠選挙で選出された前川 勲常任理事に、原田一道前常任理事が担当していた地域福祉部長、医療関連事業部副部長、学術部部員を担当してもらうことに決定。

第5号 日本医師会 医師会共同利用施設検討委員会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

臨時代議員会の補欠選挙で選出された竹田公一理事を、故山 英昭前理事が参画していた標記委員会委員に推薦することと決定。

第6号 特別支援における医療的ケア連絡協議会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

三宅副会長を推薦することと決定。

第7号 国保審査委員会委員の推薦に関する件

(榊山常任理事)

保険医代表1名(脳神経外科)の辞任に伴う後任委員として、札幌市脳神経外科医会から推薦のあった1名を推薦することと決定。

第8号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座57件、道医認定生涯教育講座50件、合計107件を承認することと決定。

第9号 第4回全理事会の議案に関する件

(深澤常任理事)

10月4日(土)午後4時から小樽市で開催する標記会議の提出議題を決定。

第10号 その他

○10月行事予定に関する件

報告事項

1. 第6回指導医のための教育ワークショップ[9月6日(土)・7日(日)]について(渡辺常任理事)

本年度も昨年を引き続き、北海道との共催により実施した。参加者は39名。旭川医大・奥村教授をチーフタスクフォースに、また、5名のタスクフォースにより、9月6日、7日の二日間、16時間35分にわたり、「講義、グループ作業、発表討論」という形で行われた。終りに受講者を代表して最年長者へ修了証が授与され、終了した。

2. 表彰選考委員会[9月8日(月)]について

(深澤常任理事)

協議事項第3号で併せて報告

3. 緊急臨時的医師派遣事業第6回運営委員会[9月10日(水)]について(宮本副会長)

派遣依頼のあった4医療機関4診療科の状況および登録済派遣元医療機関18病院の条件を精査の上、派

遣を決定した。

4. 平成20年度「メンタルヘルスセミナー・イン函館」 「9月17日(水)」について(目黒常任理事)

公立学校共済組合北海道支部からの委託事業として、本セミナーを函館市で開催した。「家庭と職場のメンタルヘルス」と題し、特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院の松原良次院長から専門的な立場から講演いただいた。参加者は88名であった。

5. 第30回産業保健活動推進全国会議[9月18日(木)・日医]について(小山常任理事)

午前中、3地域の地域産業保健センター・産業保健推進センターから活動事例が報告された。午後からは「労働者のメンタルヘルス対策の現状と課題～地域・職域の連携を含めて～」をテーマとしたシンポジウムが行われた。その後、協議では各地域からの質問・要望について活発な質疑応答が交わされた。

6. 日医理事会報告(長瀬会長)

9月16日(火)開催の第7回理事会は既報のとおりであるとして、事前の理事打合せ会に関し、入浴事故防止キャンペーンの実施(広島県)、名古屋高裁「入院患者の身体拘束違法、逆転勝訴」判決(愛知県)、厚生労働省「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会」の再設置を要望等について説明。

7. 日医各委員会報告

(1) 男女共同参画委員会[9月10日(水)]について (藤井常任理事)

来年度に札幌市で開催する「第5回男女共同参画フォーラム」の今後の進め方について、協議を行った。また、11月19日(水)に日本医師会で開催する「保育システム相談員講習会」の中で、小職より地域における保育システムについて報告することとなった。

(2) 労災・自賠責委員会[9月10日(水)]について (目黒常任理事)

冒頭、日医・石井常任理事より中央情勢等報告がなされた。続いて各委員からのレポートを

もとに、労災保険関係では「医療現場や審査会での算定基準の問題点」を、自賠責保険関係では「人身傷害補償保険の問題事例、あり方」を協議した。

(3) 勤務医委員会[9月12日(金)]について

(三宅副会長)

勤務医と医療制度改革のかかわりについて意見交換をした。また、12月4日(木)に都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会が開催されることとなり、北海道・茨城県・鹿児島県各医師会から各地の現状等について報告することとなった。

(4) 医療政策会議[9月17日(水)]について

(長瀬会長)

国立国際医療センター総長の桐野高明委員から、日本学術会議が政府に提出した要望「信頼に支えられた医療の実現－医療を崩壊させないために－」に関する講演を伺い、フリーディスカッションを行った。要望は、(1)医療費抑制政策の転換、(2)病院医療の抜本的な改革、(3)専門医制度認証委員会の設置、の三つの事項である。

(5) 広報委員会[9月18日(木)]について

(藤原常任理事)

標記委員会の第2回会議が開催され、宝住副会長の挨拶に引き続き、中川常任理事から中央情勢報告があった。協議では、「勤務医対策」ならびに「ホームページの活用」についてディスカッションを行った。

道総医協関連事項

1. 地域医療専門委員会 第1回医療施設整備等検討委員会[9月11日(木)]について(北野常任理事)

平成19年度医療提供体制施設整備交付金、医療提供体制推進事業費補助金により医療施設・設備整備を行った9事業の事後的評価について協議し、全て了承した。

電子メールによる会員への情報提供について

—メールアドレスの登録—

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：add@m.doui.jp